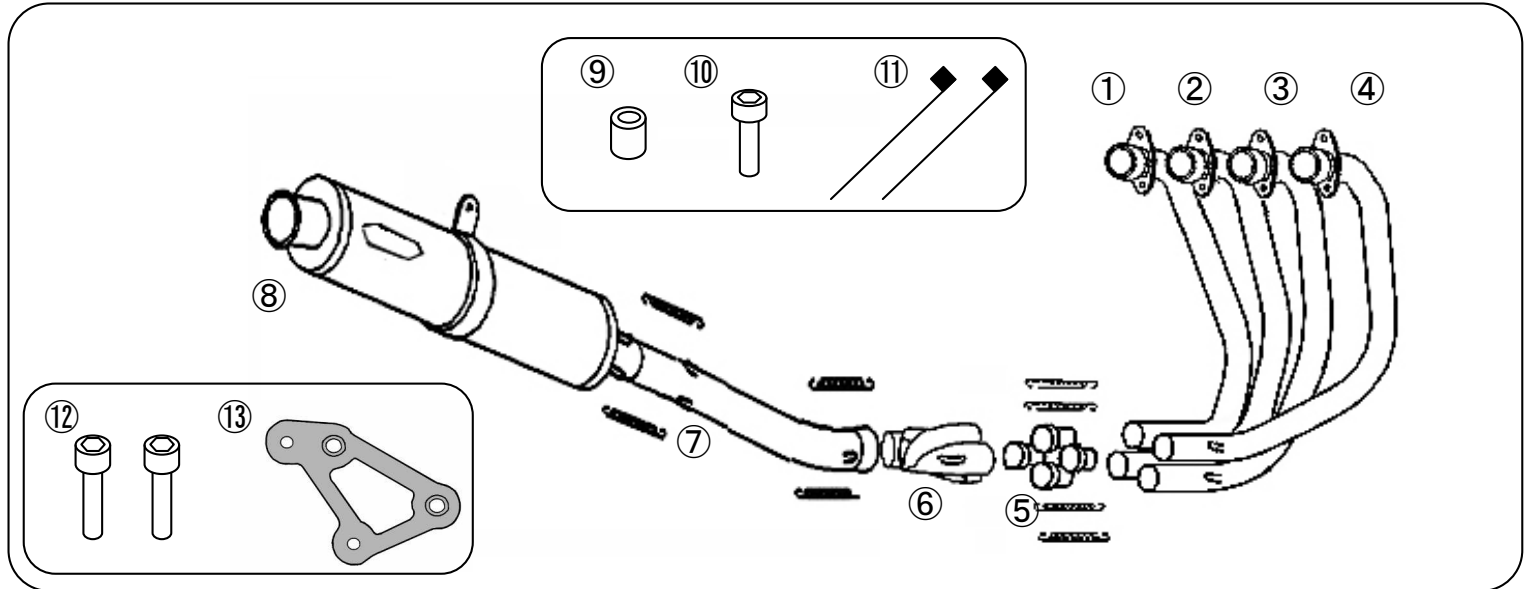


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行ってください。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。このマフラーは、Z900RS/CAFE(2BL-ZR900C)用となっております。その他の機種(車両型式)に関しては、取り付け確認及び車検対応の確認を行っておりませんのでご注意ください。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。

※純正オプションセンタースタンドとの併用はできません。



パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
①	EXパイプ #1	1
②	EXパイプ #2	1
③	EXパイプ #3	1
④	EXパイプ #4	1
⑤	リストリクター	4
⑥	スパイラルコレクター	1
⑦	テールパイプ	1
⑧	サイレンサー	1
-	スプリング	8
⑨	カラー	1
⑩	ボルトM6-30	1
⑪	タイラップ	2
⑫	ボルトM8-30	2
⑬	タンデムアッププレート	1

①純正マフラーの取り外し

純正サイレンサーを取り外します。純正マフラーを取り外した際の部品の一部はノジママフラー取り付けの際に使用しますので無くさない様ご注意ください。

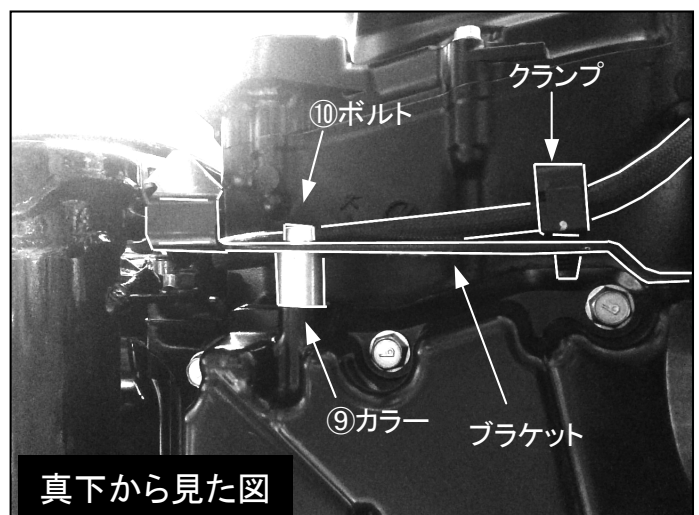
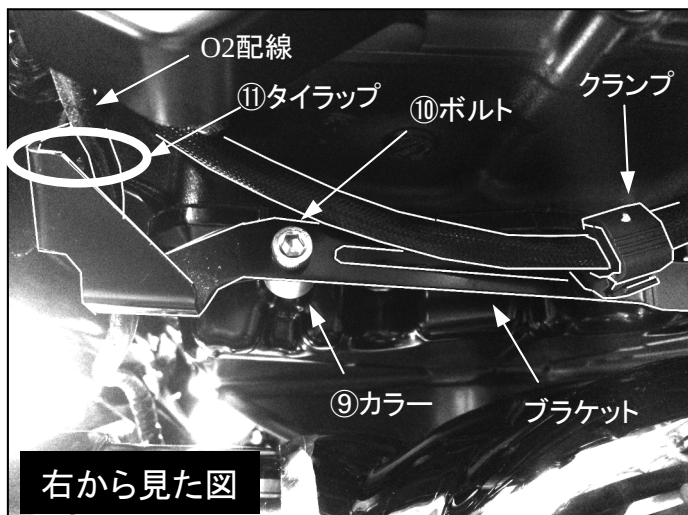
※マフラー・その他純正パーツの脱着方法に関してはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従って作業を行ってください。

※O2センサー取り外しの際は配線が捻れて断線する事の無い様ご注意ください

②センサー配線ブラケットの移設

O2センサーの配線を保持しているセンサー配線のブラケット(メーカー名称:ブラケットオキシゲンセンサー)を取り外し、下図の様に左右を180度反転して、純正ボルト、⑧カラー、⑨ボルトを用いて取り付けます。

(純正とはセンサーの位置が大きく異なる為、ノーマルでは他の配線と一緒にクランプされているO2配線をクランプから外し、O2配線のガイド的にこのブラケットを流用します。他の方法で配線の処理を行う場合はこの工程は無視し次へ進んで下さい)



③タンデムブラケットの移設

純正の右側タンデムブラケットを取り外し、⑫ボルトを用いて⑬タンデムアッププレートを手体に取り付けます。次に、純正ボルトを用いてタンデムアッププレートにタンデムブラケットを取り付けます。

④エキゾーストパイプの取り付け

エキゾーストパイプをエンジンに取り付けます。この際、フランジ部のナットは仮止めの状態(パイプが多少動かせる程度)にしておいて下さい。エキゾーストガスケットは新しいものをご用意下さい。(※①～④の識別シールは番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします)



⑤集合及びテールパイプの取付け

①～④EXパイプに⑤リストリクターを組み付け、⑥スパイラルコレクターに差し込み、スプリングを掛けます。続いてO2センサーを取り付けた⑦テールパイプをスパイラルコレクターに差し込み、スプリングを掛けます。無理が掛からない様にO2センサー配線を取り回し、⑪タイラップ等を用いて移設したブラケットオキシゲンセンサーなどに配線を留め、カプラを繋ぎます。配線はブラブラしたり熱を持つ部分に触れたりしない様取り回してください。

※各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を薄く塗布する事をお勧めします。

※スプリングはペンチ等を用いて作業すると折損の原因になります。必ずスプリングフック等をご使用下さい。

⑥サイレンサーの取付け

⑧サイレンサーを⑦テールパイプに差込んでスプリングを掛け、純正タンデムブラケットの外側にバンドが来る様に、純正のボルトナット類を用いて仮留めします。テールパイプやサイレンサーと、車体・ペダル等の干渉が無い事を確認し、問題がある場合は各差込み部で微調整を行った上で、最後にフランジ部・サイレンサー部のボルトナット類を本締めします。

⑦最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。

⑧セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(より突き詰めてセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)

又、アクセルを戻した際に起こるアフターファイヤーが純正マフラーに比べて目立つ場合がありますが、これは車両の吸排気系が排ガス浄化の目的で積極的にマフラー内で二次燃焼を起こす仕組みになっている為であり、特に不具合等の心配はございません。(純正マフラーはサイレンサー内に壁が多い構造の為アフターファイヤーが目立ちませんが、純正マフラーでも同様に発生しています。)

注意！

走行中や走行後、マフラーは非常に高温になります。特にこのマフラーは排出ガス浄化の目的で、テールパイプ部に触媒を使用しており、従来のマフラーに比べ更に高温になりますので、より一層の注意が必要です。火傷や衣類・靴等への熱害・損傷には十分お気をつけ下さい。又、駐車の際は他の人が触れない様にご配慮下さい。

- グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合もあります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブリさせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発→排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)
- グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気をつけ下さい。
- シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。
- 本製品はJMCAの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。車検時に必要となる大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。(再発行は有償となります)
- 転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。